

## 《構内・バック事故の根絶》 見る・待つ・止まる 構内における 三原則

- **いつもの場所でも、周囲の状況はいつもと違うかも？**  
○慣れた場所であっても、**周囲の状況を必ず目視確認！**  
いつもは何もない場所に…  
たまたま、今日は**荷物が置いてあったり、車が止まっているかも**知れない

- **バックで進入する場所は、事前に自分の目でよく見る！**  
○不可能な場所を除き、目視で**確認していない場所へ、バック進入しない！**  
トラックの**真後ろ**は見えません  
進む先に、**ぶつかる物がないのか、事前に視ておく**必要があります

- **作業終了後、運転席に乗り込む前に、自車の状況を確認する！**  
ユニック・ダンプ・ウイングなど…  
格納を忘れたまま**発進し、電線やシャッターへの衝突事故**が多い  
車の姿を見てから、**運転席に乗り込む**  
発進する前に、**ミラーを確認(アンダーミラーも)、自車の周囲の確認を！**

★**構内での事故は、高額賠償の可能性！ あせらずしっかり確認する！**★

**漫然運転、居眠りに注意しましょう 2時間走行15分休憩！**

## 《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

### 早朝5時 国道の信号交差点 国道走行中のワンボックスと 左の脇道から出てきた乗用車が、出合い頭に衝突 乗用車の女性が意識不明の重体

- ◇黄色信号で交差点進入は、命取りになります 黄色信号は「止まれ」◇  
◇交差点手前で、黄色信号の場合は、加速しないで停止する◇

2026/5/29(金) 7:38

29日午前5時20分頃、宮城県の国道の信号交差点で乗用車とワンボックスカーが出合い頭に衝突する事故がありました。この事故で乗用車を運転していた20代の女性が意識不明の重体で病院に運ばれました。ワンボックスカーを運転していた30代の男性もけがをして病院に運ばれましたが、会話はできる状態だということです。警察によりますと事故当時、ワンボックスカーが国道を北進していて乗用車が左の脇道から出てきたということです

### 午前11時 国道を横断中の女性 軽乗用車にはねられ、救急搬送 軽乗用車運転の86歳の男性、現行犯逮捕 現場は見通しの良い直線道路

「先ばかり見て、歩行者に気づかなかった」

- ◇『わき見運転』、『漫然運転』はせずに、危険意識を持って、『運転に集中』しましょう◇  
◇ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2026/5/28(木) 18:06

26日午前11時10分ごろ、千葉県の国道で軽乗用車を運転し、道路左側から歩いて横断していた女性をはね、重傷を負わせた疑いで、男性(86)が現行犯逮捕されました。警察によると、容疑を認め「先ばかり見て歩行者に気づかなかった」と供述。女性は70～80代とみられ、頭から血を流し、病院に救急搬送されました。

### 夜11時 信号や横断歩道のない県道 横断中の女性、乗用車にはねられ重傷

- ◇横断歩道のない場所…「渡ってくるかもしれない」 かもしれない運転で、事故防止◇  
◇夜間、ヘッドライトをこまめに切り替え、遠目ライトで早期発見！ 事故防止◇

2026/5/29(金) 10:31

28日午後10時40分ごろ、茨城県の県道で、歩いて横断していた、女性(52)が、女性(47)の乗用車にはねられ、外傷性脳内出血などで重傷。現場は信号機や横断歩道がない片側1車線の直線。